

会 議 記 録					
会議の名称	決算特別委員会 (全体会)			会議場所	全員協議会室
				担当職員	阿久根由美子
日時	平成26年9月24日(水曜日)		開議	午前 10 時 00 分	
			閉議	午前 10 時 18 分	
出席委員	小島委員長、立花副委員長(分科会委員長)、吉田総務文教分科会委員長、齊藤産業建設分科会委員長ほか委員20名 (明田議長、西村議員(委員外議員))				
執行機関出席者	栗山市長、湯浅副市長、勝見副市長、竹岡教育長、坂井病院事業管理者、中川会計管理室長、岸企画管理部長、門総務部長				
事務局出席者	藤村局長、山内次長、阿久根副課長、坂田主任、三宅主任				
傍聴	可	市民名	報道関係者名	執行機関名	議員 0名

会 議 の 概 要

10:00

1 開 議

2 委員長あいさつ

<小島委員長>

決算審査の意義を確認しよりよい決算審査を実施していかなくてはならない。慎重、円滑な審査に協力願う。

3 委員会日程について

〔事務局長 日程説明〕

4 決算審査

10:04

〔市長等 入室〕

<市長>

第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～のさらなる具現化を目指し、予算編成を行った。依然厳しい社会・経済情勢のもとで常に財源の確保を図りながら、予算の執行に努めてきた。

昨年度は、収納率の向上や国の大型補正の活用等を含め収入確保に努めるとともに市債発行の抑制等により、予算執行は概ね順調に推移し、一般会計の実質収支は市制施行以来の黒字決算を継続することができた。

各特別会計と上水道、下水道事業会計は、黒字決算、純利益を計上した。病院事業会計は経営努力をしたが結果的に純損失を計上することとなった。

決算は将来の財政計画や各種まちづくり計画の推進における基礎的データともなるもので、分析・評価を怠ることなく有効に活用していく。

〔会計管理室長 概要説明〕

5 その他
なし

10 : 17

10 : 18 散会